

ライオンズクラブ国際協会 335-D

キャビネット通信



熱く・明るく・楽しく

Vol 10 2024年2月

本キャビネット通信は不定期発行です

2023年～2024年

本通信は情報の伝達のために発行しております。内容詳細やガバナーの想い、ガバナーの熱意については、担当ゾーン・チェアパーソンからお受け取りください。

皆様とお会いできることを楽しみにしています

governor 廣田 晃一からのメッセージ

ホントに月日が経つのは早いもので、ガバナーに就任してからもう7ヶ月が経過しました。このキャビネット通信も現在進行形で第10号までできたわけですが、皆さんには紙ベースでの発送と言う形式ではないので、残念ながらクラブ事務局さんのパソコンでストップして皆さんには届いてないというお話をお聞きすると悲しくなったりもします。一方であるクラブ事務局さんでは例会資料に添付するだけでなく、最新号が必ず事務局にも掲示してありました。私自身、本当に嬉しい瞬間でした。さて、本年度の地区年次大会は70回目になります。私のテーマ「不易流行 恩送り」のとおり、70年の歴史の中から、大切にしなければならないこと、変革していくこと、を見極めつつ準備を進めています。そのうえで、皆様に「是非とも参加してください!!」と大会委員長ともどもお願いしております。そして年次大会当日は皆様のゾーンやクラブにお伺いした「廣田晃一」となんな変わるところはありませんのでどうか気軽にお声がけ頂けたら嬉しいです。

414414は例会振替・全員出席で !!

地区年次大会委員長 本庄 正人より

有名人を呼び、その名前で年次大会に人を集めるのは、ライオンの心を持って参加いただける方々に対して、とても失礼なことだと考えます。メンバー誰しも的心中には入会当時に感じた高揚、また奉仕に対する熱意があるはずです。「断れなくて入会した」方もご自身で判断して入会され、現在に至っているはずです。コロナが明けた本年度、いつの間にか三役だけが顔を出しとけばええんや・・・になってしまった地区年次大会をもう一度「ライオンズパーソンの心の祭典」として意味あるものにするべく、まず、集まること!! これを目標に準備を進めております。

69年の間に少しずつ追加されたり積み上げられた式典項目により、それぞれの部分に思い入れや意味があるのだと思いますが、結果的に「ずいぶん重くなっちゃったなあ・・・」というのが正直な感想です。ご出席いただく皆さんに全く関係のない挨拶やセレモニーにお付き合いいただくのはとても退屈なことだと思います。だから、誰のために?何をするのか?という基本に立ち返り、必要なものだけで構成しました。そのために「礼を欠いた」部分が生じるかもしれない危険性もはらんでおりますが、メンバーの皆さまが「お! これなら行ってもええかな!!」と想像していただけるような大会を目指して 式典時間1.5時間とし、式典前にアトラクション、更にその前に姫路城ご招待を込み入れ式典の中の午後4時14分に参加者全員でローアをあげることをめざします。豪華な催し物を提供することはできませんが、ライオンズ魂が震えるような感動をお持ち帰りいただけたら幸いです。

ライオンズ必携 ご覧くださいね !!

地区会則委員長 岩崎 吉男 より

「ライオンズ必携って・・・規則が書いてあるんでしょう?ほとんど見ないなあ・・・」役職者を除き、皆さんそうだと思います。でも、本当は「ライオンズ必携」には皆さんが困ったときの助けになることが いっぱい書かれています。例えば「一般(ノンライオン)の方々から集めたお金は、確か何に使っても良いわけではなかったような・・・」こんな疑問が出た時、ライオンズ必携にはその答えがちゃんと明記されています。最新の第61版では改定箇所も多くありますので、ぜひ一度ごらんください。辞書として使っていただくこともできますよ!!